



間違えた問題の見直しをさせたい

4月に行われた、仙台市の標準学力検査の活用法について相談です。7月に、小学4年のわが子の検査結果が戻ってきました。国語と算数、社会、理科の4教科です。

算数と国語は時間が足りなくて、解けない問題がいくつかあったようです。応用問題も難しかったとのこと。「夏休みのうちに間違えた部分を解き直そう」と声をかけたものの、「もうやりたくない」と見向きもしていませんでした。

間違えた部分の見直し方や、子どもがやる気になる声かけのこつを教えてください。

先生、教えて！

子育て・教育相談コーナー



仙台市太白区

30代・主婦

からの質問

●回答してくれた人

畠山 厚子さん

はたけやま・あつこ
市出身。仙台市住吉台小、鶴谷東小校長を歴任。2019年4月から宮城県NIE委員会コーディネーターを務める。



さまざまな学力検査は、子どもの学習や生活の様子を把握し、今後の指導に生かすためのものです。お子さんの学習状況は、各教科の目標値または平均正答率と、その子の正答率を比較することで全体的に把握でき、目標値より下がっている観点や内容の項目に今後、力を入れていくと良いです。

点数に一喜一憂するのではなく、結果のさまざまなデータを分析することを勧めます。例えば正答率が「0.0」の項目の場合、無解答だった可能性があります。時間不足か、全く分からなかったかでは、今後の学習の仕方が違います。時間不足で無解答でも、統計上は理解できていないと捉えられます。

記述式の問題は最後に解答す

る傾向があり、時間切れになることも多いです。どの教科も問題数は結構多いのですが、時間は短いため、速く読む力、速く解答を書く力、問題を解く力が必要です。つまり、読解力を身に付けることです。

新聞を読む子と学力の高さは相関関係があります。新聞を読む時間を設けている学校は、子どもたちが記事をすらすら読み取り、要約や感想を書いたり友達と交流したりする活動などを継続的に行い、学力も高い傾向にあります。

子どものやる気を大切にしてい、間違えた問題の振り返りをするとういでしょう。確かな学力向上のためには、自己肯定感やたくましく生きる力を育てることも重要です。

目標値以下の項目から

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレスkyopro@po.kahoku.co.jp



2025年度版 宮城県 好評発売中 高校受験総合ガイド

公立高校80校+2キャンパス、私立高校19校、私立・単位・通信2校のガイドを掲載！

特集 変わる受験環境と増える選択肢

宮城の高校受験の最新動向

●制服図鑑 ●入試直前対策テスト 解答と解説

行事&部活動
課外活動、進学状況
などを紹介



定価 1,650円

発行 河北新報出版センター

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1丁目2-28
電話022(214)3811 FAX022(227)7666
9:30-17:30(土日祝を除く)
<https://www.kahoku-books.co.jp>



お求めは、書店、河北新報販売店または河北新報出版センターまで。
河北新報配達地域にお住まいの方が、河北新報販売店または出版センターにお申し込みの場合、ご自宅や職場に配達します。(配達料無料・ただし一部配達できない地域もあります)

河北 Books